

平成 22 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	4	子どもや高齢者を地域ぐるみで見守る	評価責任者 (基本施策主管課長)	介護高齢福祉課長 植田 美由喜
-------	---	-------------------	---------------------	--------------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標 政 策	安心・安全 必要ときに支えがある安心なまちづくり
①	市民意識調査結果	<p>市民意識調査では、必要度は平均で満足度は平均を上回っているが、安心生活創造事業のモデル地区の矢持地区、上野西部地区でのアンケートでは、不安を訴える声が多い。</p>
③	基本施策の現状と課題	近所に親戚や親しい友人がいないひとり暮らしの高齢者世帯等が年々増加している。孤立死が起こりうる状況である。
④	基本施策の意図、今後の展望	住み慣れた地域で安心していきいきと暮らし続けることができ、決して孤立死などさせないよう、地域の人々の支援が不可欠であるため、買い物支援や見守りなどを、住民自治協議会を中心とした生活基盤支援体制を整えることが急務である。

⑤ 基本施策指標の検討・設定

現況の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる基本施策指標候補	重点化
住民自治協議会	支援体制を整え実施する住民自治協議会数	1
高齢者	支援を受ける高齢者数	2

基本施策指標名	単位	過年度実績			評価年度	目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H20	H21	H22		H25	H30			
1 実施する自治協議会数	目標	団体数		2	2	15	30		全国で58市町村が実施しているがモデル事業であるため水準とするところがない	
	実績	団体数		2						
	達成率	%	#DIV/0!	100.0						
2 支援を受ける高齢者	目標	人		30	50	400	1000		全国で58市町村が実施しているがモデル事業であるため水準とするところがない	
	実績	人		0						
	達成率	%	#DIV/0!	0.0						

⑥ 基本施策構成事務事業の評価

担当課	ID	事業名	改善余地の有無	事業費(人件費込、単位:千円)			重点化	
				H21 決算額	H22 予算額	H23 所要額		
1	健康福祉部 介護高齢福祉課	266	安心生活創造事業	有	9,378	13,600	13,600	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
(以下 続紙)								
事業費 小計					9,378	13,600	13,600	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	介護など高齢者を支えてきたのは、家庭から施設へと変化してきているが、増え続ける高齢者を支える力には限界があり、地域力を求めざるを得ない。 住民自治協議会の活動そのものが地域を安全に守ることであるが、仕組みを整え各地域の自治協議会へ推進したい。
2 事業構成の適当性(手段として最適か?)	地域ぐるみで基盤支援(買い物支援・見守り支援)を行い、住民が安心して、またやりがいのある生活を続けることができる。
3 役割分担の妥当性	有償ボランティア(いが見守り支援員)を有効に活用するため、地域における自主財源の確保を検討し、自立した運営を目指している。
4 総合評価(今後の展開、事業の見直し等)	行政や、社会福祉協議会、福祉サービス事業者が担っていた役割の一部を、地域が地域で可能な範囲を担うことで、市民の経済負担、市の財政負担が軽減され、安心は継続できる。 平成23年度までのモデル事業で得る一定の成果を元に、市全域の自治協議会が利用できる「事業実施マニュアル」を作成し、各地域へ事業普及を図り、安心なまちづくりのため効果が見込める。